

日本学術会議 電気電子工学委員会
URSI 分科会 医用生体電磁気学小委員会 (K 小委員会)
第 25 期 第 5 回

議事要旨

日時：2023 年 4 月 27 日 (木)、10:00-11:00

場所：ハイブリッド開催 (現地会場および遠隔会議)

現地会場：東京大学 本郷キャンパス 工学部 2 号館 3 階 電気系会議室 1A (東京都文京区本郷 7-3-1)

遠隔会議 (Web)：ZOOM (主催者：東京大学大学院工学系研究科バイオエンジニアリング専攻関野研究室)

出席者：

第 25 期 URSI-K 国内小委員会委員：

現地会場：渡辺聡一 (NICT : 委員長)、中園聡 (電中研 : 副委員長)、齊藤一幸 (千葉大 : 幹事)、関野正樹 (東大 : 幹事)、長岡智明 (NICT : 副幹事)、吉江幸子 (鉄道総研 : 副幹事)、幾代美和 (NICT : 幹事補佐)、齋藤淳史 (電中研 : 幹事補佐)、佐々木謙介 (NICT)、清水久恵 (北科大)、田畑仁 (東大)

Web：河野隆二 (横国大)、伊藤公一 (千葉大)、池畑政輝 (鉄道総研)、牛山明 (科学院)、王建青 (名工大)、上村佳嗣 (宇都宮大)、黒田輝 (東海大)、神保泰彦 (東大)、多氣昌生 (都立大)、藤原修 (名工大)、増田宏 (久留米大)、松井康人 (京都大)、松木英敏 (東北大)、山口さち子 (NICT)、山崎健一 (電中研)

陪席：

現地会場：日景隆 (北大)

Web：大西輝夫 (NICT)

議題：

1. URSI-K 国内委員会第 25 期第 4 回委員会 (2022 年 9 月 1 日) 議事録の確認
2. R5 年度のスケジュールについて
3. 日本学術会議 URSI 分科会の報告
4. 国際 URSI-K の状況報告
5. URSI GASS 2023 の状況報告
6. 関連学会・会合に関する報告
7. その他

配布資料：

- 25-5-1：第 25 期第 4 回議事録(案)
- 25-5-2：第 25 期_K 小委員長候補選挙_内規_R2
- 25-5-3：URSI 分科会資料
- 25-5-4：GASS 2023 Program at a Glance_ComK
- 25-5-5：日本ハイパーサーミア学会第 40 回ポスター

議事内容：

渡辺委員長より、開催の挨拶がなされた。合わせて、午後に予定されている第 15 回医用生体電磁気学シンポジウムの案内がなされた。

■ 議題 1：URSI-K 国内委員会第 25 期第 4 回委員会（2022 年 9 月 1 日）議事録確認（資料 25-5-1）

齋藤（一）幹事より、資料 25-5-1 に基づき、URSI-K 国内委員会第 25 期第 4 回委員会の議事録について確認がなされた。

- ・第 4 回委員会に議事録の内容について異議はなく承認された。

■ 議題 2：R5 年度のスケジュールについて（資料 25-3-2）

齋藤（淳）幹事補佐より、資料 25-5-2 に基づき、日本学術会議 URSI 分科会 K 国内小委員会委員長候補者選出の流れについて説明がなされた。

- ・第 25 期委員長選挙は 8～9 月頃に実施した。選挙の実施にあたり、幹事団と国際委員で作成する内規を定め、第 24 期委員長の王教授（名工大）、国際委員の伊藤名誉教授（千葉大）、第 24 期幹事補佐の齋藤主任研（電中研）で組織される選挙管理委員会を設置した。投票の案内および投票はメールにて実施した。また、投票にあたっては第 25 期委員長には渡辺様（NICT）を推薦候補者とする認否投票の形式をとった。

（質問・コメントなど）

- ・渡辺委員長：本来、日本学術会議本体の改選に基づき、URSI 分科会 K 国内小委員会委員長の選出に至る。現状、不確定なところもあるが、通常通り改選となると思われる。なお、委員については、人数の制限もあるため、研究会会員全てが委員となるわけではないが、これまでも研究会をベースに活動してきた経緯もある。委員については、新委員長の方針も踏まえ、選出していくことになる。

■ 議題 3：日本学術会議 URSI 分科会の報告

渡辺委員長より、資料 25-5-3 に基づき、日本学術会議 URSI 分科会の状況について報告がなされた。

- ・日本学術会議「未来の学術振興構想」の策定に向けた「学術の中長期研究戦略」への応募

の提案があった。これまで継続的にマスタープランに応募してきたが、これをベースとした提案について、審議、承認され、学術会議に提案した。また、日本学術会議「未来の学術振興構想」（太陽地球系結合過程の研究基盤形成）への支援への賛同についても承認された。

・2023年度 URSI Board 選挙への日本の対応について、審議がなされた。小林一哉教授（URSI 分科会副委員長）を日本から次期 URSI 会長候補として推薦することも検討されたが、分野の多様性を考慮し、次期は副会長（2 期目）候補としてノミネートし、次々期に URSI 会長候補として推薦することとなったことが報告された。

（質問・コメントなど）

・河野委員：「SDGs の達成に資する電波資源の科学・商業・公共利用におけるレギュラトリサイエンスに基づくハーモナイゼーション」について、K 小委員会としては、電波の科学利用、商用利用の中立的な立場から御協力いただきたい。

・渡辺委員長：「学術の中長期研究戦略」という名称の変更について、これにより従来のマスタープランはなくなったという理解でよいか。

→ 河野委員：名称は変わったが、従来のマスタープランと同等のものである。

■ 議題 4：国際 URSI-K の状況報告

伊藤委員より、国際 URSI-K の状況について報告がなされた。

・Terms of References について見直しが進んでいる。Technical Advisory Committee によりドラフトを作った後、5 月に入ってから Official メンバーに意見をもらい、URSI 事務局に提出するという流れになる。最終的には、URSI GASS 2023 の 4 回目の Council Meeting にて正式承認される。

・Commission K の Vice Chair と Early Carrier Representative の選挙が予定されており、それぞれ 2 名ずつ候補者が出ている。Official メンバーには投票依頼がなされる時期に来ている。最終的には、URSI GASS 2023 の 1 回目の Commission Coordinating Activities Meeting が候補者について議論できるラストチャンスあり、2 回目の Council Meeting にて正式承認される。

・URSI GASS 2023 のテクニカルプログラムの原案ができ、事務局に提出した。問題なければ、今後公表に至る予定である。

（質問・コメントなど）

・渡辺委員長：Vice Chair と Early Carrier Representative の選挙についての連絡はまだ来ていないが問題ないか。

→ 伊藤委員：4 月に集計して連絡することになっている。

→ 渡辺委員長：承知した。日本としての 1 票については医用生体電磁気学研究会の会員にも相談したい。

・渡辺委員長：Terms of References の内容については、URSI GASS 2023 の Council Meeting の前にも確認や議論を行う時間はあるか。

→ 伊藤委員：骨子は URSI GASS 2023 の前に決まると思うが、Commission Coordinating Activities Meeting は、決定前に 3 回あるのでその中でできるだけ議論していただきたい。

・渡辺委員長：Terms of References についてはこれまで少なかった医療応用関係の項目が増えるという理解でよいか。

→ 伊藤委員：現在検討中の Terms of References では従来 6 個の項目が 9 個に増えている。医療応用については、従来 1 個であったが診断・治療およびヘルスケア・リハビリ関連に分けることで 2 個に増えている。

■ 議題 5：URSI GASS 2023 の状況報告

佐々木委員より、資料 25-5-4 に基づき URSI GASS 2023 の準備状況について報告された。

・会期は 8 月 19～26 日となり、Commission K に関わるセッションについての採択論文数は 155 件（内、13 件がオンライン）となっており、すべて札幌コンベンションセンターで収まる予定である。参加登録は既に始まっているので早期での是非参加を検討いただきたい。

・Young Scientist Award は決まったが、Student Competition は審査中である。

・Commission K に関わるチュートリアルでは Alessandra Costanzo 教授（ボローニャ大学）より WPT 関連のウェアラブルデバイスの講演がなされる予定である。

・Commission K の旧ビジネスミーティングである Commission Coordinating Activities Meeting は、誰でも参加可能であり、オンラインでも行う予定である。

■ 議題 6：関連学会・会合に関する報告

・黒田委員より、資料 25-5-5 に基づき、黒田委員が大会長を務める日本ハイパーサーミア学会第 40 回大会についての紹介がなされた。会期は 9 月 8～9 日であり、本研究会にも関連する内容もあるので、参加を検討いただきたいとの報告がなされた。

・長岡副幹事より、NICT より報道発表された国際標準小児数値人体モデルと電気定数データベースについての紹介がなされた。2023 年 2 月に公開された国際標準小児数値人体モデルについては、国際的な標準に合致したモデルとなっており、利用申請を行うことで非営利目的であれば誰でも利用可能であるとの報告がなされた。また、1 MHz～100 GHz を対象とした 58 種類の生体組織の電気定数データベースの公開についても同様に利用可能であるとの報告がなされた。

■ 議題 7：その他

・特になし。

以上